

▼完成した甲佐小学校の新体育館。延べ床面積は1,500平方メートル。



統合甲佐小体育館が完成

統合甲佐小学校体育館しゅん工式

統合甲佐小学校体育館改築工事がしゅん工し、2月10日（水）甲佐小学校（吉見和洋校長205人）の新体育館でしゅん工式が開催されました。

式典は、町が主催。発注者の奥名克美町長をはじめ、町執行部、町教育関係者、町議会議員、請負業者など約70人が出席。奥名町長が「旧体育館は老朽化が激しく耐震強度不足のため、新体育館を建築しました。学校教育での利用はもとより、地域からの要望や社会体育への対応などを考慮した利便性の高いもの

です」とあいさつしました。同工事は、条件付一般競争入札として、昨年6月22日（月）に入札。予定価格は3億5,382万9,000円で、和久田建設株式会社が3億3,76万3,000円（いずれも税抜き）で落札しました。

新体育館は、延べ床面積1,500平方メートルで旧体育館の約1・5倍の広さ。鉄筋コンクリート造（一部鉄骨）平屋建てで、アリーナ部には観覧席が設けられるなどの工夫が凝らされた造りとなっています。

いつも給食おいしいね

全国学校給食週間で甲佐小がふれあい給食会開催

1月27日（水）甲佐小学校（吉見和洋校長205人）で、ふれあい給食会が開催されました。

同会は、全国学校給食週間（1月24日（日）～30日（土））の取り組みの一環として開催。同小多目的ホールで、3・4年生が、奥名克美町長、師富省三副町長、溜渕誠也町教育長と一緒に給食を食べて交流。この日

の献立の米粉パン、ポトフ、サラダ、牛乳、手作りゼリーを食べながら、給食や学校生活などについて会話が弾みました。

また、町学校給食センター（中林健次所長）では、学校給食の大切さについて理解を深めるための取り組みとして、町内児童が制作したポスターや標語などの作品を募集し、町生涯学習センターに展示しました。



▶奥名町長とテーブルを囲み会話を弾ませて給食を食べる甲佐小児童

高齢者を連携・協働して見守る

高齢者ネットワークサポート説明会

2月23日（火）町生涯学習センター・ホールで、高齢者ネットワークサポート説明会が開催されました。

御船警察署の主催。同署管内の行政関係者、老人施設関係者、企業など約200人が参加。

高齢者サポートネットワークとは、行政機関や各種団体、地域社会が連携して高齢者に関する情報を共有し、見守りや安否

確認などの活動を行い、事故や事件に対して適切な対処を図るために構築する連携体制。インターネットなどを活用して情報を収集・発信し、高齢者の安全・安心を図ります。

本山秀樹署長は「九州初の試みで前例のないものだが、関係企業やボランティアの皆さんの積極的なご協力をお願いします」とあいさつしました。



▶町生涯学習センターでの高齢者サポートネットワーク説明会

磨かれた家族のハーモニー

家族コーラス「左座家」が県大会で最優秀団体

2月7日(日)宇城市で第8回熊本県ヴォーカルアンサンブルフェスティバルが開催され、下田口区の家族コーラス「左座家」がMIP(最も感動的な賞)を受賞しました。

同大会は、熊本県合唱連盟の主催。51グループが出場し、少人数編成でのハーモニーを披露。童謡「七つの子」などを演奏した「左座家」は同賞受賞により、

今月20日(土)から福島県で開催される第3回声楽アンサンブルコンテスト全国大会に、県代表として出場が決定しました。

大会を振り返り、代表の守さんは、「第1回大会出場をきっかけに家族での活動を始めたので、MIPという結果は非常にうれしい。全国大会では、熊本の最優秀団体の名に恥じない演奏をしたい」と語りました。



▶「左座家」の(左から)由紀さん、彰さん、彩音さん、守さん



◀乙女小まつやま塾の農場に子ども小屋を建て始めた児童たち

廃材を使った小屋づくりに挑戦

乙女小まつやま塾

2月17日(水)甲佐町放課後子ども教室「乙女小まつやま塾」で、廃材を使った小屋づくり体験が始まりました。

同塾は、放課後に地域住民の参加協力を得て勉強や体験学習などに取り組み、地域社会で子どもたちをはぐくむことを目的に、町教育委員会が主催。毎週水・金曜日に活動しています。今回の小屋づくり体験は、電

柱などの廃材を利用して同塾の農場で建築開始。児童たちは、のこぎりやのみを使って建材を整え、棟上げまで行いました。

同塾でコーディネーターを務める宮本松雄さん(南三箇区)は「家の手作りに挑戦することで、児童の可能性を広げてあげたい。完成したら宿泊体験などを通して、豊かな心をはぐくんであげたい」と話しました。

郡市対抗駅伝で連覇

最優秀選手に栗田嶺競技者(上早川一区)



▲上益城郡チームに選出された(写真前列左から)伊藤、梅本、荒田、(後列左から)米村、岡本、栗田の各競技者

2月14日(日)第36回郡市対抗熊日駅伝大会が開催され、上益城郡チームが前回に引き続き優勝し連覇を達成しました。

同大会は、熊本陸上競技協会・熊本日日新聞社主催。天草市役所前からびふれす熊日会館前(熊本市)までの14区間105・3^キで争われ、19チームが出場。郡チームが5時間25分2秒で2年連続3度目の優勝を飾りました。

本町からは6人が選出され、4人が出場。1区は、梅本祥太競技者(甲佐中1年・和田内区)が4位で力走。6区を岡本峻悟競技者(宮崎産業経営大1年・古閑区)が区間8位でつなぎ、9区の栗田嶺競技者(熊本工高2年・上早川一区)と12区の米村崇志競技者(熊本工高2年・芝原区)が区間1位の走り

で後続を引き離して独走態勢を築き優勝に貢献しました。

栗田競技者は、大会最優秀競技者賞を受賞しました。

また、伊藤大貴競技者(御船高3年・下豊内区)と荒田昇輝競技者(甲佐中2年・浅井区)も選出されました。